

# 平成31年度(令和元年度)

# 学校評価

## 集計結果と今後の方針

### (本校)



回答率	協議委員	100%	84%
	保護者	51%	
	教職員	100%	

\*協議委員： 学校運営連絡協議会委員

\*保護者： S部門保護者、B部門（本校）保護者

学校評価に御協力くださり、誠にありがとうございました。評価していただいた内容や、評価結果に基づき、設問ごとに今後の方針をまとめましたので、御覧ください。

多くの設問に対して丁寧に回答していただき、また貴重な御意見を多数いただきました。学校評価の結果について真摯に受け止め、さらなる教育の充実に向けて、教職員一同、努力を重ねてまいります。

# 平成31年度(令和元年度)学校評価 集計結果とまとめ

(1)4段階の評価をプラス評価(4、3)とマイナス評価(2、1)とし、未記入を加え、表示しました。

(2)評価記号について

全体合計(協議委員、保護者、教職員合計)において、以下の割合に基づき、各取組の評価を行いました。

- ①マイナス評価10%未満(◎)
- ②マイナス評価20%未満(○)
- ③マイナス評価25%未満(△)
- ④マイナス評価25%以上(▲)
- ⑤全体評価のマイナス評価は少ないが、未記入が10%以上であり、プラス評価も高いとは言えない(□)
- ⑥教職員の未記入が10%以上であり、校内の理解啓発取組が早急に必要(■)
- ⑦保護者の未記入が10%以上であり、保護者への理解啓発取組が早急に必要(◆)

(3)回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)では、個人が特定できないように表現に改めるとともに、内容を一部要約しています。

## ■特別重点目標1 魅力ある学校教育の創出

Q1 両部門の児童・生徒の実態に応じた交流を通し、学園の一体感が感じられる教育活動を進めることができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	89%	11%	0%	92%	2%	6%	88%	11%	1%	90%	8%	2%

### 回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)

#### 1 各種学校行事やプログラム等で感じられる一体感

- ・光明祭での発表が、床面上では我が子の姿が見えません。舞台上で発表する我が子の姿が見たい。兄弟の学校では、すべて舞台上で発表しています。【保護者】
- ・光明祭や式典では、ひとつの学園として常にまとまっている。S・B部門の教員も一体となり、連携できているように思う。【保護者】
- ・学園全体で行うプログラムが増えたように思う。また、我が子のグループは給食の時間をB(部門)の生徒と共有していて、よい刺激になっています。【保護者】
- ・訪問生でも、授業中の先生のお話や動画・配布物を通じて一体感を感じられる。保護者としても大変ありがたいと思っております。【保護者】
- ・校舎が離れたことで、生徒会活動では会えるが、交流がしにくい場面もあるようです。【保護者】
- ・校舎は離れてしまったが、保護者同士の関心理解が深まるよう、今後に期待したいと思います。【保護者】

#### 今後の方針

○今後も、学園全体で行うプログラムを実施する中で、両部門学園生の相互交流を行い、学園の一体感が感じられる教育活動を進めます。日常的な場での交流については、給食時の交流や合同進路学習等を行っていきます。  
○光明祭では、多数のお客様にお子さんの輝く姿がよく見ていただけるように舞台上での発表にしていきます。

Q2 案内や電話の対応、服装等、学園クオリティの基盤となる教職員の接遇マナーの向上ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	99%	1%	0%	89%	11%	1%	96%	4%	0%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 接遇マナーのクオリティ												
<ul style="list-style-type: none"> <li>丁寧で親切な対応に感謝しています。受け持ちでもなくても声をかけてくれます。【保護者】</li> <li>電話の対応がとても良い。先生や学校介護職員の方とすれ違う際に、笑顔で挨拶してくれる。【保護者】</li> <li>あいさつをしても返ってこない方もまだいるし、自分からという人は少ない。【保護者】</li> <li>服装は、TPOに応じた配慮が時にあっても良い。面談だけでなく、保護者会でもジャージの先生が多い。【保護者】</li> <li>通勤時のジャージやスウェットが多い。社会人では考えられない。ある程度フォーマルであるべきだと思う。【教職員】</li> </ul>												
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>○あいさつの徹底を図ります。</li> <li>○通勤時は、社会人として学園生の見本となる服装、教育活動中もTPOに応じた服装を徹底します。</li> </ul>										

Q3 新校舎西棟と既存校舎A棟の新たな共用開始への周到的準備と円滑な移行ができていましたか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎◆	100%	0%	0%	84%	5%	11%	83%	15%	2%	89%	7%	4%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 事前の見学会の有用性												
<ul style="list-style-type: none"> <li>8月に新校舎の見学を親子でできた時はとても良かった。スムーズに2学期をスタートすることができた。(多数) 【保護者】【教職員】</li> <li>見学会があったため、その日に向けて、開始前に準備ができた。【教職員】</li> <li>西棟の利用については、まだまだ改善が必要。特に保護者の車の乗り入れルールについて、あまり周知されていないようだ。【保護者】</li> <li>現在、送迎をしていますが、中庭利用、バスターミナル使用のルールの変更が多く戸惑います。★の日は、前日の案内、もしくは、前週に案内がほしいです。【保護者】</li> </ul>												
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>○北棟完成時にも事前の見学会を実施するように進めます。</li> <li>○西棟バスターミナルの一時停車利用のルールは、通信及び全校保護者会で周知しています。スクールバスと送迎車が競合しないよう、安全を第一に考えたルール設定から始まり、スクールバスの到着状況を見て、利用時間の拡大を図ってきました。</li> <li>○西棟利用×の日は、毎月の通信とツイッターでお知らせしています。</li> <li>○安全のためにルールの周知を引き続き図っていきます。</li> </ul>										

Q4 HPやtwitter、リーフレット、校内外の掲示板等を活用し、保護者や地域住民に向け、必要な内容が必要な時期に発信できていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	89%	11%	0%	90%	5%	5%	89%	8%	3%	90%	8%	3%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 ツイッターによる情報発信の有用性												
<ul style="list-style-type: none"> <li>移動教室の時にtwitterを見ると子供たちの様子が分かって安心できる。いつもたくさんアップしていただいているありがたいです。【保護者】</li> <li>ツイッターで、西棟の車両乗り入れの可否等、情報が更新されているのは、とても助かっています。【保護者】</li> </ul>												
2 必要な情報の保管について												
<ul style="list-style-type: none"> <li>リーフレットが少々多いと感じる事もある。【保護者】</li> <li>紙プリントが多く、量もかさばり、管理が大変です。メールやLINEをもっと活用し、ペーパーレス化をしていただきたいです。【保護者】</li> </ul>												
<b>今後の方針</b> ○ツイッターによる情報発信を、さらに充実させていきます。 ○ペーパーレス化の声もある一方、メールでは見逃してしまう、紙ベースで管理しているという声もあります。どちらの声も大事にし、緊急性のある発信は、フェアキャストを効果的に使うなど、必要度・緊急度に合わせて情報を発信していきます。												

## ■特別重点目標2 効率的・機能的な学校組織の確立による組織力向上

Q5 学部や分掌、委員会等で業務の効率化や合理化ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%				77%	13%	10%	89%	7%	5%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 メールでの業務の共有												
<ul style="list-style-type: none"> <li>不在の教員が多い会議でも、メール等で業務は遂行できた。【教職員】</li> <li>全体の業務量が多い。また、業務分担の経緯が見えず、一部分掌や一部教員の業務負担が過重だと感じる。【教職員】</li> </ul>												
2 効率的・計画的な業務進行の必要性												
<ul style="list-style-type: none"> <li>分掌業務の割振りが明確でない。適切な人数および人選がなされていると思えない。【教職員】</li> <li>主幹・主任連絡会の意図が分からない。担当主任とラインの主幹教諭が必要に応じて連絡をすれば、あとは主幹教諭間で情報共有していただければ済むと考える。【教職員】</li> <li>昨年度マニュアルを作ったが、新年度に分掌の再編があり、マニュアルを使えなかった。年度末の早い時期に分掌再編についての話し合いを持ち、マニュアル作成に反映させる必要がある。【教職員】</li> </ul>												
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事・分掌作業・学部作業の繁忙期が重なっているため、1年中忙しい感じが抜けない。そこへ新企画が増えるため、担当者の疲労感が増大している。計画立案が遅れ、締め切りが短い業務が多い。業務内容を精選し、年度当初に計画を立て、それにはないものは翌年以降に回す。【教職員】</li> </ul>												
<b>今後の方針</b> ○分掌業務については、メールによる業務の効率化を進めると共に、新しく担当になった者が見て、すぐに業務が進めることができるマニュアルの作成・ブラッシュアップを進めます。 ○主幹・主任連絡会は、年度当初に意図を明確にします。この連絡会は主幹教諭が主任教諭の業務の進捗を把握し進行管理・全体調整をする、学校運営を円滑に推進していく機能を担っています。 ○分掌業務の精選と分掌間で業務量が偏らないよう業務割りを検討します。												

Q6 主任担当業務を明確にすることで、機能的・効率的な組織運営が進められていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%				80%	16%	4%	90%	8%	2%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 主任の明確化による効率化												
<ul style="list-style-type: none"> <li>主任が明確化したことで、主幹の前に相談すべき主任が明らかになった。組織的な動きがある【教職員】</li> <li>主任が昨年度までの業務を知らないと分掌業務が滞る。引継ぎのための会議を設定するか、副主任を設置して複数で業務を進められるようにする。【教職員】</li> <li>主任の担当業務が明確になり、業務の相談がしやすかった。【教職員】</li> <li>組織を一つのグループの中で細かく分け、主任教諭をライン長として配置した運営は効率が良かった。【教職員】</li> </ul>												
<b>今後の方針</b> ○今後も主任教諭の担当業務を明確にし、機能的・効率的な組織運営を進めます。 ○主任業務もマニュアルに明示し、業務の引継ぎが短時間で済むような工夫を図ります。 ○主任教諭は業務を計画的に遂行するとともに進行管理等を行い、担当ラインの主幹教諭は全体を俯瞰して進行に偏りがある際は調整を図るなどして、組織的に学校運営を遂行していきます。 そのためにも主幹・主任連絡会を効果的に機能させていきます。												

Q7 本校舎拠点(学部・保健室・経営企画室)・寄宿舍拠点(寄宿舍・健康指導室)がそれぞれ連携して運営できていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎◆				73%	7%	20%	87%	10%	3%	80%	9%	12%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 連携の実際												
<ul style="list-style-type: none"> <li>連携されていることを保護者は知らない。それぞれに説明することが必要な時が何度もあるので、連携されているとは思わなかった。【保護者】</li> <li>他学部、寄宿舍等と連携して情報共有ができた。【教職員】</li> <li>自分の学年に舎生がいたので、十分連携して行う必要があり、連携できた。【教職員】</li> <li>他学部、寄宿舍等と連携して情報共有ができた。【教職員】</li> <li>臨機応変な対応でスムーズに業務を遂行することができた。【教職員】</li> </ul>												
<b>今後の方針</b> ○教職員のアンケート結果からは、毎朝、B部門の職員朝会に、看護師、寄宿舍指導員が出席し、情報共有を行ったりするなど、必要に応じて連携がなされていることが分かります。 ○しかし、そのことが保護者の方には伝わっていない状況があることから、今後は、連携した内容が保護者に「伝わり・見える工夫」を行っていきます。 ○保護者に説明を求めることが、それぞれの拠点から重複しないよう、連携・情報共有を一層、図っていきます。												

■特別重点目標3 専門性ある人材を活用した教育の充実

Q8

【教職員回答】教材作成や学習指導アドバイザーからの指導を受け、新学習指導要領への的確な対応と授業準備の効率化が図られていますか

【保護者回答】お子様は、学習指導を通じて、成長していると感じますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	91%	9%	0%	85%	12%	3%	92%	7%	1%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 学習による成長が感じられる												
<ul style="list-style-type: none"> <li>継続していただいている授業内の様々な取り組みのお陰で、我が子のコミュニケーション能力の向上を感じております。【保護者】</li> <li>段階を経て子どもの理解力が伸びていると感じます。知的好奇心が育まれていることを確信しています。【保護者】</li> <li>専門家からの指導・助言を取り入れることで、取り組むべき方向性が定まるなど有難い。【教職員】</li> <li>アドバイスをを受けて指導に加えたことや、成長を促す取り組みは、連絡帳にアドバイザーからの具体的なアドバイスをいただいた旨記載していただくと、家庭でも取り入れていきます。【保護者】</li> <li>努力がなされていることは感じますが、学習指導アドバイザーの助言内容が、自分の子供にどう変化があったのかはわからない。【保護者】</li> </ul>												
今後の方針		○学習指導アドバイザーによる指導・助言は、お子さんのもてる力の向上につなげるために、教員の授業改善・個別指導の在り方等に役立てています。 ○学校のみならず、共にご家庭でも取り組んでいただけるよう、連絡帳や面談等を通じて保護者の方に担任から伝えるようにします。個別指導計画に反映させて、共通理解を深めていきます。										

Q9

【教職員回答】特別講師を招聘した学習会『形の弁別』の機会を通じて、校内の学習指導力の向上が図られていますか。

【保護者回答】学校介護職員と教員との連携が進められていますか。

評価	協議委員			S部門保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	98%	2%	0%	76%	22%	2%	92%	8%	1%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 本研修の有用性												
<ul style="list-style-type: none"> <li>全校で共通した学習指導を勉強する機会があり、充実している。【教職員】</li> <li>基本的な学習を学ぶ貴重な機会であり、個別学習指導方法の面で大変参考になった。【教職員】</li> <li>自分の指導場面の言動を振り返ることができ、非常にためになっている。保護者も同じ学習会をすることで面談の際に共通言語ができ、課題を説明しやすくなった。【教職員】</li> <li>自分の授業やケースに当てはめる力が必要となる。【教職員】</li> </ul>												
今後の方針		○今後も、特別講師を招聘した学習会を実施し、教員と保護者が共通言語で共通理解できる機会を設定し、教員の学習指導力の向上とお子様の成長を支えます。										

Q10 【S部門保護者回答】学校介護職員と教員との連携が図られていますか。

【S部門教職員回答】学校介護職員対象の研修及び個別支援の実施により、学校介護職員と教員との連携が図られていますか。

評価	協議委員			S部門保護者			S部門教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎◆	100%	0%	0%	83%	1%	16%	83%	13%	4%	89%	5%	7%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 連携の推進・充実												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員が細やかに指示を出したりしている様子を確認している。信頼関係ができていて、コミュニケーションもよく取れている。【保護者】</li> <li>・ HTの先生も子のことをよく理解して接してくれます。【保護者】</li> <li>・ 教員だけでは手が回らないところをHTの先生がよく気づいてくださっています。【保護者】</li> <li>・ 客観的な観点からアドバイスをいただくことができる。【教職員】</li> <li>・ 授業支援の視点を頂ける研修や個別支援が具体的なため、それを軸にして学校介護職員と教員の連携につながっていると感じる。【教職員】</li> <li>・ 学校介護職員導入から年数がたち、経験値の差が大きくなっている。特に全体への研修は、教員の年次研のように内容に違いがあってもよい。</li> </ul>												
今後の方針		○今後も継続して、学校介護職員の専門性の向上を図り、教員との連携・協働のもとに教育活動の積極的な推進を進めてまいります。										

Q11

【B部門本校教職員回答】精神保健福祉司と精神科医による研修や指導は、学園生への心理面の支援に関する指導に役立っていますか。

【B部門保護者回答】外部人材を活用した教職員の指導が、生徒の心身の安定につながっていますか。

評価	協議委員			B部門保護者			B部門教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
□	78%	22%	0%	100%	0%	0%	94%	6%	0%	91%	9%	0%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 精神保健福祉司と精神科医による研修や指導支援による、有用性												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 精神保健福祉士の方が定期的に来校し、生徒の様子を定期的に観ていただけることで、教員だけでは気が付かないことを教えていただいている。【教職員】</li> <li>・ 生徒のことを具体的に相談できて大変有効である。【教職員】</li> <li>・ 月に一回くらいでは生徒の心にはひびかない。もっと回数を増やすべき。【学運協委員】</li> </ul>												
今後の方針		○学園生の心理面の支援を進めるため、今後も、精神保健福祉士と精神科医による研修や指導の継続及び回数の検討を行い、お子さんの心身の安定につなげていきます。										

Q12

【本校教職員回答】両部門の教育課程において、学校構築期3年間で踏まえた令和2年度の教育課程の開発と実施準備ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%				83%	12%	5%	92%	6%	3%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 実態に合った教育課程の開発												
<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の生徒の進路や実態に合わせた教育課程の開発と準備が進められており、評価できる。(B)【教職員】</li> <li>新しい教育課程の方が現状や今後に向けてを考えると合っているように思う。(B)【教職員】</li> <li>(高等部準ずる課程の)1年生は共通で、自分の将来を考えて相談しながら2年生以降のコースを決定することができるようになり、実態に即していると感じる。(S)【教職員】</li> <li>内容が良く分かりません。【教職員】</li> <li>教育課程について今一度、学びたい【教職員】</li> </ul>												
今後の方針		○令和2年度からの新しい教育課程については、全校連絡会や学校通信を通じてお伝えしてきたところですが、改めて説明する機会を設けるとともに、令和2年度からの本格実施を確実に進めていきます。										

## ■特別重点

## 授業力の向上

【教職員回答】新学習指導要領移行を踏まえた教科指導の充実を図ることができていますか。

Q13

【保護者回答】お子様は、学習指導を通じて、成長していると感じますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	92%	4%	5%	85%	13%	2%	92%	6%	2%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 授業参観ガイド作成による、新学習指導要領移行を踏まえた教科指導の充実												
<ul style="list-style-type: none"> <li>参観ガイドの作成等の機会に、新学習指導要領をひも解くことに意義がある。【教職員】</li> <li>参観ガイドの分量が適度で負担なく作成できる。学習指導要領を十分意識して作成し、授業づくりを行った。【教職員】</li> <li>【保護者】</li> <li>教科指導における目的設定に課題が多かったり、すでにできていることを目標にしているケースが多い。たすくの学習指導アドバイザーを活用しアセスメントをして目標設定に生かす。【教職員】</li> </ul>												
今後の方針		○新学習指導要領移行を踏まえた教科指導を行うためにも、授業参観ガイドにおいて、新学習指導要領の内容を記載する等、常に教員が新学習指導要領に沿った学習を行う機会を設定し、お子様の成長を促していきます。										



Q14

【教員回答】授業者支援会議を通して、支援者の指導により、指導者が学習指導の改善や新たな視点を得る機会が、校内で作られていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%				82%	15%	3%	91%	8%	2%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 さまざまな視点を得られ、有用性												
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が授業者であっても支援者であっても様々な意見を知ることができる。【教職員】</li> <li>ほかの教員から新たな視点を得ることができる。【教職員】</li> <li>支援者の当て方について、再考が必要。一部の人から断られる場合がある。年度初めに、担当部署からルールを明確にするとよい。【教職員】</li> </ul>												
今後の方針	<p>○授業者支援会議は、指導者及支援者、どちらにとっても学習指導の改善や新たな視点を得る有用な機会です。</p> <p>○研究研修ラインを中心に、「年間〇回は支援者になる」等のルールを作り、授業支援会議を活性化していきます。</p>											

Q15

【保護者回答】授業参観ガイドや通知表を通して、児童・生徒への日々の指導の取り組みや成果について伝えられていますか。

【教員回答】学園として、授業参観ガイドや通知表の作成を通して、保護者等へ日々の指導の取り組みや成果について分かりやすく伝えることができますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	89%	11%	0%	88%	5%	7%	92%	8%	0%	90%	8%	2%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 指導の取組や成果を分かり易く伝えている授業参観ガイドや通知表												
<ul style="list-style-type: none"> <li>授業参観ガイド、通知表ともにとっても分かりやすい説明と、よく日頃から見ていただいていることを実感でき、素晴らしい。【保護者】</li> <li>通知表が子供にとっても分かりやすく、とても喜んでいました。【保護者】</li> <li>ガイド等、作成して下さることで、授業内容が分かりやすいです。【保護者】</li> <li>通知表は、書式が分かりやすい。【教職員】</li> <li>通知表について、個別面談で保護者から「通知表の書式が生徒向けなのか大人向けなのかかわからない」と言われた。表紙の面は完全に大人向けで、中を開くと写真があったりして本人向け、という部分のことらしい。【教職員】</li> </ul>												
今後の方針	<p>○多くの保護者・教職員が、授業参観ガイドや通知表の形式や内容に肯定的です。</p> <p>○必要に応じて、若干の修正を加えながら、今後も授業参観ガイドや通知表を通して、日々の指導の取り組みや成果についてお伝えいたします。</p>											

Q16

【S部門保護者・教員回答】教材作成アドバイザー導入により、「工夫した教材」が増え、校内でこれを活用した授業の展開が進められていますか。

評価	協議委員			保護者			S部門教員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	91%	9%	0%	83%	12%	5%	91%	7%	2%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 教材作成アドバイザーを活用した教材づくりへの意見												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・こちらのふんわりとしたアイデアを具現化してくださるアドバイザーには感謝しかない。【教職員】</li> <li>・多忙な中で教材を作ってもらえるシステムはありがたい。【教職員】</li> <li>・教材作成アドバイザーが過去に作成した実績をもとにアドバイスをくれることが良い。【教職員】</li> </ul>												
2 アドバイザー導入による成果の情報発信												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫された教材を多く見受けます。【保護者】</li> <li>・廊下などの展示に、工夫された作品があることは良く分かりますが、〇年生ではどのように活用されているのかわからない。【保護者】</li> <li>・実感が無いので、ご報告いただきたいです。「工夫した教材」導入の際には、その都度お知らせいただきたいです。【保護者】</li> </ul>												
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>○教材作成アドバイザーによる教材については、担任から保護者の方へお伝えするようにします。</li> <li>○教材作成アドバイザーの活用について、学校通信等で保護者にお伝えするようにします。</li> </ul>										

Q17

【両部門教職員・S部門中学部3年生及び高等部1年生の保護者回答】高等部入学相談事前対策として、高等部学力調査問題の過去問題を開示することにより、お子様の高等部入学への意欲の喚起につながっていますか。

評価	協議委員			保護者			教員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	88%	13%	0%	89%	11%	0%	76%	19%	5%	84%	14%	2%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 高等部学力調査問題の過去問題開示に対する評価												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・準ずる子達にとっては良いと思う。【保護者】</li> <li>・義務教育終了・高等部入学を意識できる。【教職員】</li> </ul>												
2 自立活動を主とする教育課程・知的障害を併せ有する生徒の教育課程の行動観察について												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去問と同時に、自立主や知代対象の行動観察の観点なども開示すると公平性がある。【教職員】</li> <li>・グループ単位での入学事前相談項目があるとよかったです。特に外部より入学の場合、各グループが何をどんな形で目標としているのかわかりにくいです。【保護者】</li> </ul>												
今後の方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>○学力調査に向けての準備の手掛かりとなるように、準ずる教育課程については今後も過去の出題済みの問題を開示し、</li> <li>○自立活動を主とする教育課程・知的障害を併せ有する生徒の教育課程への学力調査(行動観察の内容)の開示についても、開示していきます。</li> </ul>										

Q18 【教員・検定挑戦に向けた補習にお子様に参加した保護者の方回答】英語検定等の挑戦に向けた補習の機会を設定することにより、学園生への学習支援ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	86%	14%	0%	84%	9%	7%	90%	8%	2%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
<b>1 補習による意識の向上と安心感</b>												
・中高EFグループ中心に各種検定に挑戦しようとする意識が高まっている。【教職員】												
・補習することにより、生徒が安心して受験することができる環境を整備することができている。【教職員】												
・検定試験の補習は、数回のみだったが、ありがたかった。【保護者】												
・補習を行っている教員の休憩時間の対策はなされているのか【教職員】												
<b>今後の方針</b>												
○今後も、各種検定に挑戦しようとする意識を高めるため、安心して受験できるようにするために補習を実施いたします。 ○対応する教員の休憩時間は、事前に取得できるよう、応援体制を整えています。												

Q19 将来生活を見据えた社会資源や就労・進学情報に関する見学機会の提供ができていますか。

評価	協議委員			保護者			S部門教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○◆	78%	22%	0%	76%	7%	17%	87%	8%	5%	80%	12%	7%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
<b>1 進路だよりによる情報提供</b>												
・進路だよりで、たくさん情報をいただけること。【保護者】												
・進路情報のプリント配布を小学部低学年からもらえること。【保護者】												
・まだ先のことになりますが、進路だよりを読むと将来のことが少し想像できて、助かっています。【保護者】												
<b>2 小学部・中学部における進路情報に対する要望</b>												
・高等部になってからではなく、中学部の時にも施設の見学機会があると良い。【保護者】												
・特に社会資源の分野における情報をもっとあるとよりよい。【保護者】												
・就労、進学については配布物でなんとなくイメージがわくのですが、子にとってはまだ先のこと。もっと近い将来について知る機会があると嬉しいです。【保護者】												
・将来だけでなく、もっと身近な中学・高校での課題や準備が分かるとさらに良い。【保護者】												
・B部門に関しては、情報が少なく、卒業に向けての取り組みが不足している。【保護者】												
<b>今後の方針</b>												
○小学部・中学部段階で必要な内容(キャリア教育について等)も掲載する、進路だよりを継続して発行いたします。 ○B部門に関する進路情報も情報収集し、お伝えていきます。												

Q20 【在宅訪問学級の教員及びお子様が在宅訪問学級に在籍する保護者の方回答】分身ロボットやタブレット型端末等ICT機器が効果的に学習指導に活用されていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○	67%	33%	0%	87%	13%	0%	100%	0%	0%	84%	16%	0%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 ICT機器の活用												
・分身ロボットで、年間を通じて英語の授業に参加できたこと(が良かった)。【保護者】												
・タブレット型端末によって、音楽や絵画など身近に楽しむことができている。先生が、弱い筋力でも工夫して参加できるようにしてくれている。【保護者】												
・低学年から通学生もICT活用を行うべき。【教職員】												
2 FaceTimeの活用												
・FaceTimeを利用して、訪問生同士、所属グループの児童・教員と交流を持つことができてよかった。【教職員】												
・定期的にFaceTimeで授業ができた。【教職員】												
今後の方針	○今後もタブレット端末やFaceTimeを活用した授業を行っていきます。											

Q21 【S部門教員回答】授業や休み時間等で音声メディア貸出システム「聴く読書支援」(\*マルチメディアDAISY図書)を活用できていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
▲							41%	49%	10%	41%	49%	10%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 マルチメディアDAISY図書に関する情報発信の必要性												
・生徒の興味関心や余暇活動に活用できた。【教職員】												
・もっと情報提供してくれると助かります。【教職員】												
・DAISY図書というものがあるということを知らなかった。【教職員】												
・どこで貸し出しているのか知りたい。【教職員】												
・DAISYがあることを知らなかった。【教職員】												
今後の方針	○DAISY図書に対する情報発信が十分ではありませんでした。担当部署から積極的に情報を発信し、児童・生徒の学習にもっと活用できるようにしていきます。											

Q22

「オリンピック・パラリンピックアワード顕彰校」として、オリ・パラ教育により、日本人としての自覚と誇りを持ち、他国の文化や伝統を理解し、尊重する力を身に付けるという目標が達成されていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎◆	100%	0%	0%	75%	10%	16%	87%	13%	1%	87%	7%	5%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 さまざまな文化を知る取り組みへの評価												
<ul style="list-style-type: none"> <li>オリパラ教育として、こういう茶道や華道など、家庭ではなかなかできない事に触れさせてもらえるのは、とても嬉しいです。【保護者】</li> <li>自国の文化を知る取り組みが、特に素晴らしいと思います。【保護者】</li> <li>給食で世界各国の料理が楽しめたり、外部から沢山の方が来てくださり、楽しんでいると思います。【保護者】</li> <li>オリパラ関連の行事が多すぎる。通常の授業回数が減ってしまう。学園生全体が学べるものに精選した方が良い。【教職員】</li> </ul>												
今後の方針		○令和2年度は、東京オリンピック・パラリンピックの年です。東京都のすべての公立学校が主催国としてオリパラ教育に取り組んでいます。授業時数は確保して、計画的に行っています。										

Q23

本校2校舎への移行に際して、安全な施設設備の利用方法ルールを確立し、事故や怪我の防止ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○◆	89%	11%	0%	77%	10%	13%	84%	15%	2%	83%	12%	5%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 安全な施設設備の利用方法ルールへの評価												
<ul style="list-style-type: none"> <li>西棟路上に「歩行者通路」の表示がされて少し安心して通れるようになりました。【保護者】</li> <li>歩行するルートを表示されたのは、とても解りやすくよかったです。【保護者】</li> <li>中庭から西棟への通行に安全員の方を配置して下さっているところ。【保護者】</li> </ul>												
2 スクールバスターミナル内の通路への評価												
<ul style="list-style-type: none"> <li>バスの排気ガスは、通路として利用するには気になる。【保護者】</li> <li>バスの後ろを歩いて校舎に行くのが危ないといつも感じます。【保護者】</li> <li>主に下校の際、西棟バスターミナルにバスが並び排ガスが充満するところを(乗降以外に)通路とすることは、生徒(の健康面)への配慮に欠けることだと思います。【保護者】</li> </ul>												
3 A棟・西棟間通路への評価												
<ul style="list-style-type: none"> <li>テニスコートまでのデコボコ道は直してほしい(あと数年使うわけだから…)【保護者】</li> <li>中庭から西棟への移動通路をもっと整備して欲しいです。(雨、風対策)【保護者】</li> </ul>												
今後の方針		○西棟バスターミナル前方は、スクールバス乗務員を始めとした関係者で、スクールバスの実際の動きを試行・協議を重ねた結果、バス前側の歩行は大変危険であることがわかり、安全確保のため、横断禁止としています。 ○エンジン使用を最低限にすることを、再度乗務員に周知します。 ○学園として、可能な限りの対応をしているところではありますが、いただいたご意見につきまして、一つ一つ改善策の検討を進めます。										

Q24 いじめ・体罰防止、自殺防止に向けて、学校全体で適切な指導が行われていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
□				93%	7%	0%	90%	9%	1%	91%	8%	1%

回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)

1 いじめ・体罰防止、自殺防止に向けて、学校全体で適切な指導への評価

・ 教室(通路側)のカーテンがしめられていたり、掲示物?で見えなくなっていたりして(教室の)中の様子がわからない事が少し不安な感じもあります。【保護者】

・ 言葉遣いの丁寧さがより感じられるようになってきている。【教職員】

・ 普通校のチェックリストを流用しても、実態に合っていない。【教職員】

・ 日頃から情報共有を心がけ、いじめ等の状況の把握に努めることができている。【教職員】

・ 生徒指導においても、教職員間においても、自分ができると思うことはやっている。言われたからやるのではなく、自分で気づくことができるような職場でありたい。【教職員】

今後の方針

○「いじめ・体罰・自殺防止会議」を週に一度開催し、いじめや体罰、自殺の芽がないか情報交換する機会を設けています。出席者は、校長、副校長、主幹教諭、指導教諭、寄宿舎主任指導員で、今後も学校全体での適切な指導につなげています。  
○着替え等以外は、教室内のカーテンが閉めずに教育活動を行うことを、人権感覚の視点からも徹底してまいります。

■ 児童・生徒が安心して学校生活を送れる生活指導体制の構築

Q25 両部門の児童・生徒の実態に応じて、両部門合同の避難訓練の実施ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎				98%	2%	0%	90%	8%	3%	94%	5%	1%

回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)

1 2校舎体制における避難訓練の課題

・ 2校舎になったため、様々な状況での避難が予想される。多様な場面を想定した訓練を実施する。【教職員】

・ 西棟に移転したことに伴い、今後の避難訓練の実施内容の検討が必要。【教職員】

・ 西棟に不審者が入った時の不審者対策も実施してほしい。【教職員】

今後の方針

○西棟移転後、2校舎体制になったことにより、9月以降は、さまざまな事態を想定しての避難訓練を行っています。  
○実際に避難が必要になった時に、スムーズな避難ができるよう、今後も、月に1度の避難訓練を実施し、実施後には改善点を検討し、より安全な避難ができるようにしてまいります。

Q26 児童・生徒が安全に学習できる生活指導ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎◆	89%	11%	0%	80%	4%	17%	93%	5%	2%	87%	7%	6%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 安全に学習できる生活指導への評価												
<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃から情報の共有を怠らず、些細な変化を見逃さずに報告することで保護者との信頼関係が築けていると思う。【教職員】</li> <li>その日の児童の様子など気になることはすぐに保護者に伝えるようにし、原因がなかったか考えるようにしている。【教職員】</li> <li>先生方が細かく目を配ってくださり安心しています。【保護者】</li> <li>教員のプラス配置がされたことが、非常に安心感を高めた。【保護者】</li> </ul>												
今後の方針		○日頃から保護者と情報共有をすることが安全指導につながることを踏まえ、今後も細やかな観察と連絡を行ってまいります。										

Q27 校内で児童・生徒が事故や怪我をしないように、安全な環境整備ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎◆	100%	0%	0%	77%	11%	12%	90%	7%	2%	89%	6%	5%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 安全な環境整備への評価												
<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレ等十分に配慮して下さり、成長にもつながり感謝している。【保護者】</li> <li>環境部が独立し、移転を進めることができた。西棟のゾーニングはよかった。【教職員】</li> <li>緑のテープで置き場を区切っている。【教職員】</li> <li>事故が起りかねない場所の対策はしっかりされている。【教職員】</li> </ul>												
2 安全な環境整備への要望												
<ul style="list-style-type: none"> <li>旧校舎の廊下の角に死角ミラーがあり、角曲がる時よく見えてよかったので、安全のためにも設置して欲しい。【保護者】</li> <li>角を曲がろうとして、児童や先生と接触しそうになった事が何回かあります。また、廊下が広いせいか、横並びになって指導されていて、通り抜けできない場面も多々…。角に関してはミラーをつける事できないでしょうか？【保護者】</li> </ul>												
今後の方針		○西棟移転に伴い、学園生が安全に過ごせるよう、西棟の環境整備を進めています。ご意見のありました死角ミラーの増設は来年度も順次行っていきます。 ○今後も、教室内や廊下の整理整頓を含め、安全な環境整備を行ってまいります。										

Q28 児童・生徒の安全な通学に向けて、スクールバス運転手・添乗員との連携や、一人通学をする学園生の通学指導、学校・寄宿舎間の安全な通学指導ができていますか。

評価	協議委員			S部門保護者			S部門教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	93%	7%	0%	92%	4%	4%	95%	4%	1%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 教員とバス添乗員さんとの連携												
<ul style="list-style-type: none"> <li>バス車内での生徒の様子に関して情報交換できている。【教職員】</li> <li>乗降時、校外学習利用等で、よくコミュニケーションがとれているので安心。【教職員】</li> <li>送迎時、家族からの言葉を伝えてくれる。バスの中の様子も教えてくれる。【教職員】</li> </ul>												
2 寄宿舎生の通学への配慮												
<ul style="list-style-type: none"> <li>自立を促す為、一人の時もあるようだが、病気の為や注意が散漫の時も多々あるので、見守りは必要。【保護者】</li> <li>できるだけ集団で登校する指導と、危険箇所への職員の配置を実施している。【教職員】</li> <li>度重なる工事にも対応し、通学路の確認や見直しが行われている。【教職員】</li> <li>情報共有が引き続き必要。【教職員】</li> </ul>												
<b>今後の方針</b> ○教職員アンケートの結果から、教員とスクールバス乗務員との連携は、概ねとれていると考えます。今後も乗務員研修や定期的な打ち合わせを継続し、教職員との連携を図り、安全な通学指導を進めていきます。 ○寄宿舎生の通学への配慮も継続して行います。												

Q29 【教職員及びお子様が寄宿舎を利用している保護者の方回答】寄宿舎生の下校後や休業日の生活の充実が図られていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○				80%	20%	0%	94%	4%	2%	87%	12%	1%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 寄宿舎生の体調への配慮												
<ul style="list-style-type: none"> <li>普段頑張っている分、休日は身体的・精神的に疲労していることが多いので、身体を休めるのみになる事が多い。【保護者】</li> <li>個々の実態に応じた過ごし方ができるように配慮している。【教職員】</li> <li>下校後は「心身を安定して保ち翌日の登校に備える」ことで、安心して生活できるよう改善を図っている。【教職員】</li> </ul>												
2 寄宿舎生の余暇の過ごし方の指導について												
<ul style="list-style-type: none"> <li>余暇の過ごし方を自分で考えられる生徒が少ないのが現状。少しずつ環境を整えていきながら(選択肢を準備)、自己選択、自己決定ができるようにしていく。【教職員】</li> <li>遊びに誘ったり、一緒に遊んだりして(余暇活動を)充実できるようにしている。【教職員】</li> </ul>												
<b>今後の方針</b> ○体調に応じた余暇活動ができるように配慮しながら、次年度は、個別の外出制度を整えて、順次開始していきます。												



Q30

【B部門の教職員及び保護者の方回答】本校(保健室含む)と寄宿舎(健康指導室含む)と連携し、児童・生徒の自立生活に向けた生活指導ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○				75%	25%	0%	93%	5%	2%	84%	15%	1%

回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)

### 1 本校と寄宿舎の連携状況

- ・ 連携した指導ができています。【教職員】
- ・ 登下校時及び必要に応じて話し合いをしている。【教職員】
- ・ 外部専門家を交えたケース会が特に役立っている。【教職員】
- ・ 本校で学んだ「自立活動」を寄宿舎生活の中で実践できるようになると良い。【教職員】
- ・ 今後の課題である。地域に戻ることを想定して指導すべきである。【教職員】
- ・ 保健室にも健康指導室と同じレベルで生徒を把握してほしい。年相応の対応をお願いしたい。【教職員】

#### 今後の方針

○児童・生徒の病気や障害、日々の健康状態やエピソード等について必要な情報を書面やデータ上で共有するとともに、毎朝、職員朝会でリアルタイムに情報交換をしています。  
○今後も継続していくとともに、連携すべきことは、担任が中心となり各部署と共に対応していきます。

Q31

本校2校舎体制に即した保健室での指導や緊急対応がなされるとともに、保健室や寄宿舎健康指導室間が連携して指導ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎							79%	7%	13%	79%	7%	13%

回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)

### 1 本校2校舎体制に即した保健室での指導に対する評価

- ・ 常勤看護師が毎日各教室を巡回し、児童生徒の様子を気にかけてくださることがありがたい。些細な変化や情報を共有しやすく、連携しやすい環境を作ってくれている。【教職員】
- ・ 看護師の努力で、医ケアが維持できている状態。2校舎に分かれる行事(光明祭・プール・儀式・オリパラ行事等)は安全確保が難しい。部門を超えた連携を強化するか、人員の補充が必要である。【教職員】

#### 今後の方針

○A棟には健康指導室の看護師が常駐している保健室、西棟には養護教諭・看護師が常駐している保健室、そして寄宿舎での健康指導指導室拠点と、3つの機能があります。  
○3つの機能を有機的に連携し、緊急対応のみならず、定期的な打ち合わせを行うことで、個々のお子さんへの指導の充実を高めます。

Q32

校内の児童・生徒の健康状況に応じて、教職員がアレルギーやその対応方法について理解し、行動できていると感じますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎				97%	3%	0%	93%	2%	5%	95%	3%	2%

回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)

### 1 教職員間での共通理解

- ・一緒に食堂を使うB部門生徒・先生方とも共通理解ができている。【教職員】
- ・学年・グループで毎朝給食メニューを確認している。教職員で声を掛け合っている。【教職員】
- ・調理実習時など、事前に知らせてくれている。【教職員】
- ・教員は、HTにも必ずアレルギー生徒の対応を個別指導してくれる。【教職員】

#### 今後の方針

○アレルギー対応については、教職員間での共通理解がなされています。今後も継続し、アレルギー対応を行っていきます。

Q33

【S部門教職員及び保護者の方回答】学園として、医療的ケア児への専用通学車両や、人工呼吸器管理の都指定事業について、保護者へ適切に情報提供ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○				88%	13%	0%	92%	8%	0%	90%	10%	0%

回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)

### 1 医療的ケア児への専用通学車両や、人工呼吸器管理の都指定事業について

- ・おたよりで情報をいただいたり、ほかのお子さんで工夫していることを教えていただいています。【保護者】
- ・管理モデル校として、能動的に新しい事を取り入れられたのは素晴らしいです。医ケアの通学車両、他校の知人も注目しているようです。【保護者】
- ・学校が進めようと努力している。【保護者】
- ・医ケア専用通学車両対象者ではありますが、なんだか何の情報も入ってこないと感じています。【保護者】
- ・医療ケア専用通学車両を申請したいのですが、現在の運行状況(空きなど)が分かるとありがたいです。【保護者】
- ・まだ医ケア申請していない為、詳細には分かりかねますが、今後、より透明・活発になると良いと思います。【保護者】
- ・現状どの程度実現できているのかが、わかりにくい。【保護者】
- ・現在、何名が対象で何名が利用している数を明確に知らせて欲しいです。【保護者】

#### 今後の方針

○「光明の橋～医ケア版～」の発行、全校保護者会及び医療的ケア保護者会、「医療的ケアに関する校長との懇談会」の場で、校長が自ら説明し周知を図ってまいりました。○3月には医ケア指定二事業(呼吸器・専用通学車両)報告会(臨時休校に伴い、紙面報告に代替)を開催し、リアルタイムの情報発信を継続していきます。

Q34

【喫食している通学生の保護者の方及び教職員回答】厨房環境に応じた安全で美味しい給食提供と楽しい給食タイムの実現ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
□				95%	5%	0%	88%	6%	6%	92%	6%	3%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
<b>1 オリパラ給食への評価</b>												
・ オリパラ給食では各国の食文化などを知る良い機会にいらっている。【教職員】												
・ オリパラ給食は生徒も教員も楽しみにしている。楽しい給食タイムとなっている。【教職員】												
・ 美味しい！と、楽しみにしています。【保護者】												
・ 給食はいつもおいしいし、細かい配慮をしてくださっている。【教職員】												
<b>今後の方針</b>		○3月に各学部卒業学年からリクエスト献立やオリパラ献立を準備していましたが、臨時休校できなくなってしまいました。次年度も取り組みます。「光明の学び」等を活用し、給食に関するコーナーを設けるなど、情報提供の場を検討していきます。										

Q35

【S部門教職員及び通学生の保護者の方回答】児童・生徒の摂食機能に応じた形態食の提供や、それぞれに応じた摂食指導ができていますか。

評価	協議委員			保護者			S部門教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
○				82%	18%	0%	83%	10%	7%	82%	14%	4%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
<b>1 形態食の対応</b>												
・ 安全が一番だという事は重々承知しているが、もう少しいろいろなバリエーションがあってもいいかと思う。【保護者】												
・ 他校で実施されている医ケア注入と給食の併用や2形態を合わせて提供することなどが、厨房環境の制限からできないのは残念。せっかく校舎改築したのに…【教職員】												
・ 児童の現状を、担任の先生がよく把握されているので、形態をアップすることの提案やお試し食のチャレンジで無理のない摂食が行われていることに感謝しています。【保護者】												
・ 以前のように歯科大の医師の意見も、やはり必要ではないでしょうか。なぜ昭和歯科大のチェックはなくなったのでしょうか【保護者】												
・ 希望すると摂食相談を受けることができる。外部専門家の説明は大変わかりやすく、摂食指導力の向上につながったと感じる。【教職員】												
<b>今後の方針</b>		○摂食指導を専門とする外部専門家の相談や、教職員とのケース会は有効に活用されています。今後も安全な摂食を進めるとともに、形態変更にあたっては「お試し食」の活用等を行っていきます。 ○新厨房ができたことで、今まで給食提供がなかった授業者・教員にまで提供が可能となり、食数の充実に近づけることができました。新厨房のキャパシティを鑑みて、その上で検討していきます。										

Q36 【教職員回答】校内の各種保健行事は、効率的に進めることができますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎							95%	2%	3%	95%	2%	3%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 計測機会の設定												
<ul style="list-style-type: none"> <li>日々のスケジュールを調整していただきながら検診を行っていただいている。【教職員】</li> <li>定期的な身体測定が生徒にとっても習慣になっていると思う。【教職員】</li> </ul>												
2 測定場所												
<ul style="list-style-type: none"> <li>西棟に移り、身長・体重測定を行う場所がなくなったことは大きな課題である。授業として使用している教室を譲れないのは仕方ないが、廊下についたてを置いて行うのはいかがなものか。【教職員】</li> <li>身長・体重の推移データを、必要な時に保健室に聞きに行き各担任が管理するのも良いのだが、普通小学校にあるような身長・体重推移グラフがシステムとしてあると良いと思った。サーバー上で管理するとか、ELブックに、支援会議履歴同様にいれるなどはどうか。せめてサーバー上で確認できるシステムになっているとありがたい。【教職員】</li> </ul>												
<b>今後の方針</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○完全な遮閉空間をつくり、実施しています。担当部署の教員が各授業との調整をしながら進めています。</li> <li>○身体測定場所については中学部・高等部が下校後の小学部の教室を使用するなど、更なる検討を進めていきます。</li> </ul>												

Q37 【教職員回答】就学・転学・入学・教育相談、地域支援、進路指導について、学園として連携し、就学予定児や児童・生徒本人、保護者へ適切に支援ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎							86%	4%	9%	86%	4%	9%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 情報共有の要望												
<ul style="list-style-type: none"> <li>中学部生徒向けの進路情報がほしいので、日頃から他校の教員同士で交流したい。【教職員】</li> <li>普通校の情報が全く入ってこない。分掌担当者でなくても他校見学に行きやすい環境を望む。【教職員】</li> <li>進路指導・教育相談の現状を教員に周知してほしい。【教職員】</li> </ul>												
<b>今後の方針</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学カアセスメントを検討し、実施していきます。</li> <li>○中学校、高校の進路指導部と情報交換するなどして、生徒に応じた進学計画の作成を進めてまいります。特に近接の梅丘中において、進路学習の見学や進路説明会等の情報を常時いただけるようにしていきます。</li> <li>○全教職員向けに進路指導主任から現状解説レポートを定期的に発信します。</li> </ul>												

Q38

【B部門保護者及びB部門教職員】東京都特別支援教育推進室と連携し、病弱教育部門の見学、教育相談、転学相談について、適切な対応と高等部募集対策ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体				
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入		
◎	100%	0%	0%	67%	33%	0%	87%	8%	5%	85%	14%	2%		
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)														
1 病弱教育部門の教育相談、転学相談への評価														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見学、相談は適切な対応ができています。【教職員】</li> <li>・ 募集についてはもう一息かと思う。SNS、HPでの発信、ハッシュタグ付けた投稿などやってみては。【教職員】</li> </ul>														
<table border="1"> <tr> <td style="width: 15%;">今後の方針</td> <td>○今後も、適切に見学・相談への対応を行います。 ○高等部生徒の募集に関しては、インターネット上で、教育活動の実際を発信するなどして、募集対策を活性化していきます。</td> </tr> </table>													今後の方針	○今後も、適切に見学・相談への対応を行います。 ○高等部生徒の募集に関しては、インターネット上で、教育活動の実際を発信するなどして、募集対策を活性化していきます。
今後の方針	○今後も、適切に見学・相談への対応を行います。 ○高等部生徒の募集に関しては、インターネット上で、教育活動の実際を発信するなどして、募集対策を活性化していきます。													

Q39

【中学部・高等部にお子様が在籍している保護者の方及び教職員回答】学園として、企業就労・通所施設等利用や、高等部(高校)や大学等の進学へ丁寧に対応ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体				
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入		
◎	100%	0%	0%	88%	12%	0%	87%	8%	5%	92%	7%	2%		
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)														
1 進路指導の実際														
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多種多様な子供たちすべてにご対応は難しく大変なことと思います。感謝しています【保護者】</li> <li>・ 生徒に応じた進学指導が良くできていると思います。教職員が情報を共有している結果として、充実した進路指導ができていると思います。【教職員】</li> <li>・ 保護者対象の施設見学を企画してほしい。【保護者】</li> <li>・ 進路指導については、B部門に関する知識情報が少ない為、保護者は不安になる。【保護者】</li> </ul>														
<table border="1"> <tr> <td style="width: 15%;">今後の方針</td> <td>○今後も福祉(医療的ケア)や進学状況(就労含む)など、多様な状況を的確に捉え、最新で現実的な進路指導を行っていきます。</td> </tr> </table>													今後の方針	○今後も福祉(医療的ケア)や進学状況(就労含む)など、多様な状況を的確に捉え、最新で現実的な進路指導を行っていきます。
今後の方針	○今後も福祉(医療的ケア)や進学状況(就労含む)など、多様な状況を的確に捉え、最新で現実的な進路指導を行っていきます。													

Q40 【S部門教職員回答】卒業後支援・連携として、卒業生の自立支援の為のアフターケアや、同窓会支援等ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%				81%	11%	8%	91%	6%	4%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
<b>1 情報発信の必要性</b>												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全校的には理解されていない部分が年々増えているように感じる。【教職員】</li> <li>・ 光明カレッジの計画の周知が校内でできていない。【教職員】</li> </ul>												
今後の方針		○光明カレッジの計画・実施・評価や、仰光会同窓会の実施等について、担当部署が適宜、企画調整会議で報告していきます。										

Q41 【教職員回答】学校公開や光明キッズ実施を通して、参加者のニーズに応じた学園の情報提供や支援ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%				84%	6%	10%	92%	3%	5%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
<b>1 光明キッズの取り組みに対する評価</b>												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キッズはS小の教職員総出でお子さんを迎え、実施できている。【教職員】</li> <li>・ 光明キッズは、他校にはないよい取り組みです。【教職員】</li> <li>・ キッズが就学相談を補完している部分もある。【教職員】</li> </ul>												
今後の方針		○情報提供を一番必要としている初就前の保護者に向けて、学校公開や光明キッズに加え、次年度は、6月に次年度就学予定の保護者向けの説明会、10月に次次年度以降就学予定の保護者や就学前施設向けの説明会を実施していきます。										

Q42 教職員・保護者が連携してPTA活動を行うことができますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	96%	4%	0%	84%	5%	11%	93%	3%	4%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 がやがや夏祭りの実施												
<ul style="list-style-type: none"> <li>がやがや夏祭り、今年初めて参加しましたが、先生方の活躍に頭が下がりました。【保護者】</li> <li>がやがや夏祭りは、有志の担当者の負担が年々大きくなっている。PTA活動として今までよりも具体的な役割分担を行うべき。このままの状態での継続は難しい。【教職員】</li> <li>片づけに夜10時までかかっていた。【教職員】</li> <li>PTAだよりは、もう少し簡素化していただきたいです。ペーパーでなくメールでもよいです。ひとり一役、PTA役員の仕事を減らしてもらえると参加しやすいかも。【保護者】</li> <li>PTA役員を今年度やっていませんが、本部役員等は大変な負担があると聞きます。保護者は皆、仕事、子育て、家庭があるので、負担なく(労力も精神的にも)できる範囲で行うべきだと思います。【保護者】</li> <li>内容も充実していて助かっていますが、PTAの役員さんありきの現状に申し訳なく思います。何とか負担を減らすことは出来ないのでしょうか？今後、自分が引き受ける機会があったらと思うと不安に思っています。【保護者】</li> </ul>												
<b>今後の方針</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「がやがや夏祭り」は意義のあることだが、よる遅くまでの片付けなど課題であることが分かりました。</li> <li>○次年度のがやがや夏祭りは、働き方改革の視点においても、内容の簡素化・効率化と規模縮小を学校から実行委員会に提案していきます。</li> <li>○PTA活動の運営に関することへの意見は、PTA会長にお伝えします。</li> </ul>												

Q43 意識改革に基づく業務合理化・効率化と分担改善により、時間外勤務を縮減する取り組みが推進されていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	95%	5%	0%	86%	8%	6%	94%	4%	2%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 高速丁合カラー印刷機による業務効率化												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オルフィスでのカラー印刷によって、教材作成がしやすい。【教職員】</li> <li>・ コピー機が新校舎にも必要ありと思います。【保護者】</li> <li>・ ペーパーで配布物が多すぎると思います。紙の良さはありますが、時間が経過して破棄したり、読んですぐ破棄するようなものまで紙で配布するのは、製作準備、配布または印刷費の無駄なように思います。メール、LINEで充分だと感じます。【保護者】</li> </ul>												
2 時間外勤務縮減												
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員の長時間労働を改善しようとしている努力は感じられる。【保護者】</li> <li>・ 時間外勤務が長いとその旨はメールは来るがそれだけで、根本的な業務量の調整などの対応はしてもらえない。【教職員】</li> <li>・ 勤務時間を減らすためには、仕事を減らさなければならない。勤務時間だけを減らされると、土日に出勤せざるを得ない。【教職員】</li> </ul>												
<b>今後の方針</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高速丁合カラー印刷機は、今年度2台目を配置しました。メンテナンスをしっかりとしながら、印刷業務の効率化を図り、働き方改革を推進していきます。</li> <li>○時間管理、時間の意識を各自がもつことが、働き方改革の原点でもあることを踏まえ、メールによる通知をしています。引き続き、副校長等に相談するなどして業務の振り返り等を進めていきます。</li> <li>○教育活動において安全性確保等妥協できない部分と、完成度等見直せる部分を整理し、引き続き、効率化や業務量縮減の具体化に努めていきます。</li> </ul>												

Q44

【教職員回答】働き方改革に関連して、希望をすれば産業医の相談を受けられることをしていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%				84%	5%	11%	92%	2%	6%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 教職員への周知の必要性和相談時間帯変更の要望												
<ul style="list-style-type: none"> <li>知っている。掲示板などで示されている。【教職員】</li> <li>生徒下校後に相談できるようにしてほしい。【教職員】</li> <li>タイミングが合わないことが多く、利用できていない。全員が年に一度は相談できるような、シフトを組んでもらえると有り難い。【教職員】</li> <li>問診の内容については満足感はない(10分くらいで初対面なので仕方ない)が、職場として見守っていただけていることに安心できた。【教職員】</li> </ul>												
<b>今後の方針</b> ○今年度は該当者(新転任・残業時間・健診結果)に個別にお声かけし、受診の機会を設定しました。 ○2月からは、授業時間内でも相談できる時間に変更し、体制を整えています。												

Q45

学園生が読書活動に親しめるように、校内の読書環境の整備が進められていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	81%	19%	0%	86%	8%	6%	89%	9%	2%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 展示スペース・展示の仕方への評価												
<ul style="list-style-type: none"> <li>教室から遠いどこかではなく、よく通る通路に図書があるのは、身近に感じられてよいと思います。【保護者】</li> <li>図書を見やすくディスプレイしている。【教職員】</li> <li>担当者の工夫により、非常に閲覧しやすく、図書環境が改善できている。【教職員】</li> <li>本が手に取りやすくなった。【教職員】</li> </ul>												
<b>今後の方針</b> ○今後も、図書担当を中心に、学園生にとって見やすい展示を行ったり、興味関心を引くことのできる図書を購入し、読書環境の整備を進めます。 ○児童・生徒にとって手に取りやすい図書スペースの充実を進めていくとともに、今後はバーコードによる貸出システムを導入し、読書環境の整備を進めていきます。												



Q46

校内の整理・整頓と美化や、分かりやすい校内表示の設置を行い、学園としての教育環境が整えられていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%	96%	4%	0%	84%	5%	11%	93%	3%	4%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 ピクトグラムの活用												
・ピクトグラムは、学習活動にも取り入れた。2020オリパラや暮らしの中のピクトグラムを意識するきっかけにもつながった。【教職員】												
・ピクトグラムと案内図のおかげで、大変わかりやすくなった。【保護者】												
・ピクトグラムは授業でも教えてもらって、子どもが興味を持つようになったこと。【保護者】												
2 校内の整理・整頓の維持												
・日々使っているうちに、整頓や美化が乱れてきているようにも思える。物も乱雑になりがち…【教職員】												
今後の方針		○全教職員で、新校舎・既存校舎共にきれいに使い、校内の整理整頓、美化を心がけ、学園としての教育環境を継続して整えてまいります。										

Q47

【教職員回答】環境整備やリフレッシュ資源導入により、教職員が働きやすい職員室の整備ができていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体		
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
◎	100%	0%	0%				86%	8%	6%	93%	4%	3%
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)												
1 オフィスグリコへの評価												
・オフィスグリコのように、外出しなくてもちょっとした食料を買えるのは有り難い。【教職員】												
・リフレッシュ資源としてのオフィス・グリコの設置はよかった。【教職員】												
・職員室が増えた分、オフィスグリコをすぐに増やしていただけて良かった。【教職員】												
2 小学部の職員室に対する評価												
・職員室の狭さは、本当にストレスとなる。【教職員】												
・狭くて身動きが取れないような小学部の職員室は、パーソナルスペースの観点からも働く環境としては良くないと思う。【教職員】												
・小学部の職員室は人数が多く非常に机間が狭くストレスを感じる。【教職員】												
・いたしかたない事情ではあると思いますが、やはり狭いです。【教職員】												
今後の方針		○オフィスグリコは、リフレッシュ資源として、継続していきます。 ○小学部の職員室については、工事中の一定期間であるとはいえ、現状があることを受け止め、制約がある中での工夫について、教育環境ラインを中心に改善策の検討をします。										

Q48

【教職員回答】公用携帯電話の配備・台数増加により、校内連絡体制の迅速化が図られていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体				
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入		
◎	100%	0%	0%				84%	5%	11%	92%	2%	6%		
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)														
1 校外学習での利用														
<ul style="list-style-type: none"> <li>校外学習で使えた。看護師と主幹・副校長の連携がスムーズになった。【教職員】</li> <li>校外学習で複数台使えるのは良い。【教職員】</li> </ul>														
<table border="1"> <tr> <td style="width: 15%;">今後の方針</td> <td>○今後も、校外学習の際には公用携帯電話を活用し、連携をスムーズに取れるようにします。</td> </tr> </table>													今後の方針	○今後も、校外学習の際には公用携帯電話を活用し、連携をスムーズに取れるようにします。
今後の方針	○今後も、校外学習の際には公用携帯電話を活用し、連携をスムーズに取れるようにします。													

Q49

【教職員回答】クリーンデスクを行い、児童・生徒の個人情報を保護することにより、児童・生徒の人権を尊重した業務が進められていますか。

評価	協議委員			保護者			教職員			全体				
	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入		
◎	100%	0%	0%				86%	8%	6%	93%	4%	3%		
回答用紙に書かれた意見や課題の傾向(抜粋)														
1 個人情報の保護に関する意見														
<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報に関しては、意識の高い先生が多い。【教職員】</li> <li>S1書類(個人情報を含む書類)を机上に残さず、管理するロッカーを使用することを徹底している。【教職員】</li> <li>クリーンデスクを推奨し、個人情報が置かれぬよう日々整理と工夫が必要である。【教職員】</li> <li>個人情報は印刷しないという、選択肢を実施することが必要。【教職員】</li> </ul>														
<table border="1"> <tr> <td style="width: 15%;">今後の方針</td> <td>○個人情報保護の観点から、個人情報書類は所定のロッカー内で管理し、机上には置きません。 ○書類紛失を防ぐためにも、仕事の効率化を図るためにも引き続き、クリーンデスクを行ってまいります。</td> </tr> </table>													今後の方針	○個人情報保護の観点から、個人情報書類は所定のロッカー内で管理し、机上には置きません。 ○書類紛失を防ぐためにも、仕事の効率化を図るためにも引き続き、クリーンデスクを行ってまいります。
今後の方針	○個人情報保護の観点から、個人情報書類は所定のロッカー内で管理し、机上には置きません。 ○書類紛失を防ぐためにも、仕事の効率化を図るためにも引き続き、クリーンデスクを行ってまいります。													

Q44-1 【教職員】「今年度のやりがい、力を入れたこと」は何ですか。(一人一回答)

児童・生徒への教科指導・授業改善(27)  
分掌業務(15)  
教職員間の連携(12)  
校舎改築・移転(11)  
児童・生徒理解(10)  
光明祭・宿泊行事等の行事(9)  
主任・主幹業務(8)  
医療的ケア・健康管理(7)  
保護者との連携・PTA支援(7)  
進路指導(6)  
働き方改革(4)  
資質向上(4)  
OJT、若手教員育成(2)  
環境整備(1)  
職場環境の改善(1)  
外部専門家との連携(1)  
職務専念(1)

※項目の後にある(数字)は、同じ内容について複数回答のあったものの回答数です。上から多い順に挙げました。

Q44-2 【学校介護職員】

介護の専門家として、あなたが自信をもっていることや課題と感じていることを、記入してください。

【自信をもっていること】

児童・生徒の安全管理(3)  
児童・生徒の介助(2)  
児童・生徒への摂食介助(1)  
卒業後を意識した支援・介助(1)  
児童・生徒の学習支援(1)  
児童・生徒との関わり(1)  
教職員間の連携(1)  
児童・生徒への思い(1)

【課題と感じていること】

児童・生徒の学習支援(5)  
児童・生徒の介助・支援方法の共有(4)  
児童・生徒の摂食介助(2)  
児童・生徒とのコミュニケーション(2)  
見通しをもった児童・生徒支援(2)  
教員が仕事をしやすい環境づくり(1)  
緊急時の対応(1)  
衛生面の対応(1)  
介護職の専門家として思われていない(1)

【保護者】 自由意見

		回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)	回答・改善策
学習	内容	学校ではなく、自宅という環境で教材や設備が整わないこともあると思いますが、毎回授業に合わせていろいろな道具を持ってきてくださり、大変ありがたいと思っています。なかなか反応のない子供ですが、様々な刺激や感覚を授業を通して感じる事ができました。季節や行事にちなんだ題材で、家族も楽しませてもらっています。ありがとうございます。	これからも、充実した学習が進められるように教材の工夫をしてまいります。
学習	内容	普段の授業の内容が就学前にやっていたことと変化がなく、もう少し小学生と思える内容にならないものかと、いつもモヤモヤしています。	小学生としてのねらいをもって学習を組み立てています。是非面談等でお話させて下さい。
学習	内容	現在は、障害児の受け入れの幼稚園、保育園が増えたので、教育を受けて就学することが多いと思われれます。就学期に併った学習内容と、共生社会に向けて意思表示できることを身につけさせる様な教育を望みます。	基礎基本に則った確かな学力をスモールステップで培っていきます。コミュニケーション指導にも重点を置いてまいります。
学習	体制	担任の先生の熱意を感じる事が多く、子どもがすごく成長した一年でした。引き続き御指導いただきたいと思ひます。中学部の時から感じていることですが、子どもが男子で担任の先生が女性の場合、トイレなど同性介助となるため、どうしても担任の先生が把握できない場面ができてしまうことです。HTの先生にももちろんしっかり見ていただいておりますが、学校に居るのに先生の教育的な指導を受ける機会が減っているのではないかと感じています。でも、担任の先生もHTの先生にも本当によく見ていただいております。うまく伝わらないかもしれませんが、保護者としては少しモヤモヤするところです。光明で過ごせるのもあと2年とちょっとです。毎日を大切にしたいと思っています。	<p>中学部・高等部では人権尊重の観点から同性介助としています。</p> <p>トイレ指導・介助に限らず、お子さんに係る学校介護職員や学年・グループの教員間で、学級担任を軸に、指導上の課題を共有しています。卒業後も見据え、いろいろな人と関わるチャンスとして捉えていただきたいと思います。</p>
学習	体制	訪問生です。①訪問中、保護者が家にいなくても良いように、将来的にはなつてほしい。看護師が付き添う形をつくつてほしい。厚生省と文科省に考え方を見習つてほしい。親の付き添いありきで授業を構成するのはちがうと思う。	<p>御意見拝聴させていただきました。現行での訪問教育においては、看護師の付き添いは制度としてありません。</p> <p>保護者不在の御家庭に入ることはできませんが、お子さんが主体性を発揮できる授業空間を大事に作つてまいります。</p>
学習	体制	外部専門職(PT・OT・ST)の活用がどのようにされているのか、あまり伝わってきません。自立活動の先生方がよく見て下さつていて、体の動きについてもよくわかっています。ただ、ICTの活用等、STやOTの外部専門職の方からのアドバイス(児童にだけでなく教員へも)がどのようにされているのか、もう少し見えるようにして下さるとありがたいです。低学年の時は、PTの平井先生やSTの木下先生の評価に同席できたり、学校でのそういったアドバイスが私にとってだけでなく、教員と一緒に共有できるととてもいい機会だつたと思っています。決して宮城先生が特別だと言つているわけではありませんが、普段の生活の中でのコミュニケーション等、こうゆう時どうアプローチしたらいいかと教員が悩んだ時、こまやかな指導ができる専門職がいるととてもいいと思ひます。	<p>本校には、30名程の外部専門家の方々にアドバイスをいただき、専門性のある人材を活用した教育活動の充実に重点をおいています。</p> <p>そのため、実際の指導場面を保護者の方に参観していただくことは、保護者と学校がともに取り組む方向を共有でき、学校として嬉しいことです。是非声をかけて下さい。</p> <p>また、アドバイス内容がわかるように連絡帳等でお伝えできるように、教員に周知いたします。</p>

		回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)	回答・改善策
学習	開校記念日	番号28もご参照のほど。 ・終業式(2学期)の前日が開校記念日だとしても、生徒、子供たちにとっては休校になるタイミングとして落ちつかない。流れなので、例えば12月中であっても少し早い上旬を振替休日にするなどお考え頂きたいです。(また単純にクラスメイトと校外で集うことのない子供達は、皆んなでクリスマス会をしたいはずですから！)	今年度より、変更した開校記念日について御意見ありがとうございます。「光明の橋」等で、お知らせして参りましたが、本校が世田谷区松原に校舎を移転した日が11月15日であり、無事2学期末を迎えることができた学期末日を開校記念日に設定しました。 光明学園の開校記念日の変更に際しては、歴史ある母体校の歴史を大切にしたい意味のあることとして、特別に都教育委員会より変更が認められました。
学習	開校記念日	開校記念日が12/24となりましたが、1日休んで次の日終業式というのは、冬休み前のあわただしい中(学校も家庭も)、あまりよくないと思います。	開校記念日翌日の第2学期終業式は、欠席者は少なく、多くの児童・生徒が表彰される機会となりました。 保護者の皆様の御理解・御協力に感謝申し上げます。
学習	訪問時数	訪問生です。②体調によりますが、授業時間が少ないと思う。	「訪問学級の手引き」にお示していますように、週あたり3日、2単位程度(1単位は、小学部で45分、中・高等部は50分)という東京都の授業時間の決まりの中で授業を組んでいます。
学習	訪問時数	低学年では感じませんでしたが、高学年になり、学習意欲の高まり、同級生と一緒に授業することの楽しさ、仲間とのつながりなど、意識するようになりました。何より、本人が学校に行ってみんなと学びたいと訴えることが増えています。実際、訪問生としてスクーリングも確実に増えています。その中で感じたことは、訪問授業では授業時間が少なすぎるということです。では、呼吸器をつけて毎日母が付き添い通学できるか？という他の姉妹がいたり難しいのが現状です。訪問生の授業は週3日、2時間、通学生は週5日間、午前・午後、明らかに少ないです。そこで、訪問生と通学生の間のプランを作っていただくことは難しいでしょうか。身体の動きも少ないですが、声で返事をしたり、うなずくことで意思表示、コミュニケーションが取れて、学校にもっと行きたいと言います。 →訪問と通学の中間プラン(訪問授業週2日、通学・クラス授業週2日 など)	「光明の学び」でお伝えしていますが、東京都が定める特別支援学校学級編制基準では、小・中・高の在宅訪問学級は3名以内/1名と定められており、上記授業時間の決まりからも、授業時間数を増やすことはできません。  引き続き、お子さんの学習意欲を満たせるような学習内容を計画してまいります。体調に応じて、スクーリング等の機会も活用して下さい。
学習	訪問時数	先日は、スクーリングで、午前は〇〇、お昼を食べて午後は体育館で〇〇をします、と先生がみんなに話すと、午後の授業もあるの？と、はっ！として、午前の授業で終わりで帰りたくないという意思表示がありました。通学生にとって1日中授業があることは当たり前なのですが、訪問生は他の授業にも参加したいな、行事もあるなら午後も授業を受けたいなということが不可能なルールになっています。 →午前クラス授業(担任の先生と)、午後学年・学校行事(担任の先生不在でも訪問の先生がいるなどの条件つきで)	スクーリングについては、授業日として計画します。授業時間数については「訪問学級の手引き」にお示していますように、週あたり3日、2単位程度(1単位は、小学部で45分、中・高等部は50分)という東京都の授業時間の決まりの中で授業を組んでいます。  鑑賞会など学園行事等で案内状をお渡しすることがあります。授業日以外の日程の場合、担任や訪問教員は付くことはできませんが、保護者の管理(責任)のもと参加することを、施行の上、検討していきますので、担任までご相談ください。

		回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)	回答・改善策
学習	訪問時数	<p>体力もあり、体調も落ち着いている場合、医ケアも安定している等々、母の付き添いあり、条件をつけて、授業日、時間帯ではなくても行事参加可能とするなど工夫してほしいです。また、クラス授業は訪問授業の1回となっていますが、行事は1回分とカウントしないで参加できると、団体の行事活動、クラスの学習活動両者を体験できます。クラス1回、行事1回と、それぞれカウントされると、週3回しかない授業が減ってしまいます。必要としている生徒には、勉強できる体制を整えて頂きたいです。</p> <p>→例えば、月：訪問、火：スクーリング・クラスの授業、木：訪問、金：学校行事 (今は、行事に参加すると、訪問授業が減ります。自分の授業日でないとは参加もできません)</p>	<p>「訪問学級の手引き」にお示していますように、週あたり3日、2単位程度(1単位は、小学部で45分、中・高等部は50分)という東京都の授業時間の決まりの中で授業を組んでいます。</p>
通学	駐車場	<p>自主送迎時に西棟入口で自家用車が入れない日に、入口まで行って×を知ることが多いので、赤堤通りのどちら側からでもわかるように『西棟×』を表示していただけたらな…と思います。渋滞時にテニスコートへ戻り駐車するには時間がかかるので…</p> <p>【図あり】表示①経堂方面から見えるように、赤堤通りに面した校地南西角に設置 表示②梅ヶ丘駅方面から見えるように、赤堤通りに面した校地の中庭入口西側角に設置</p>	<p>西棟バスターミナルの一時停車利用について、御協力ありがとうございます。</p> <p>赤堤通りに面した箇所での表示の可否についてもこの間までにも、検討してまいりましたが、大通り沿いでの表示は、保護者の方以外の多くの運転者の方の目に留まり、「何だろう?」と安全運転を妨げ兼ねない可能性もあることから、公的機関として見送っております。</p> <p>毎月の学校通信「光明の学び」での事前周知に加えて、毎朝ツイッターで「○×の可否」をお知らせしています。 ぜひ、毎日発信のツイッターをご活用ください。</p>
通学	駐車場	<p>駐車について… もう一度、駐車について詳しく記していただけたらと思います。医ケアのお子様以外でも駐車できる時(特に参観の日や保護者会の日)に医ケアの方ではない方が停めていらっしゃるのを見かけます。)を、明確にしていただければと思います。</p>	<p>中庭駐車場のルールについては、年度初めにお知らせを改めて配布いたします。</p> <p>中庭駐車場に駐車できるのは、医ケア等があり、学校に申請をし認められ、学校発行の「駐車票」をお持ちの方のみです。</p>
通学	駐車場	<p>医ケア専用通学車両を利用する方が増えつつある中、それでも体調のコントロールが難しく、自宅から距離があることから、自送迎を続けざるを得ないのですが…2校舎になり(主に下校時)校庭から西棟への往復で送迎時間が増え、さらに生活への支障が増えています。改めて自送迎や付き添いをする保護者の日常をイメージして頂いた上でご対応下さると、より幸いに思います。</p>	<p>下校時の西棟→中庭駐車場への移動については御不便をおかけしています。</p> <p>本来駐車場ではない西棟バスターミナルを、スクールバスとの競合を避けるルールや横断禁止などのルールを定めるなどして、少しでも利用できる工夫をしてまいりました。</p> <p>限られた状況下において、引き続き、工夫を図るとともに、道路横断時や通路通行のお手伝い等の充実に努めてまいります。</p>

		回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)	回答・改善策
通学	誘導	バスクラークの仕事内容が分かりにくい。 車の誘導や朝の挨拶は仕事ではないのか？	バスクラークの主な役割は、「専用通学車両の運行計画」に伴う契約事務や運行業者との連絡、駐車場等における「安全な乗降指示」等も含まれます。 そして、一日が始まる大切な登校を支え、子供たち及び保護者の方と最初に触れ合う職でもあります。 挨拶をはじめ、今後とも円滑なコミュニケーションを図ることに努め、安全な登下校を支えてまいります。
通学	誘導	自主送迎時の中庭駐車場の混雑時(登下校時)に、車の誘導する担当者の配置を希望します。専用車両導入に時間を要するので、自主送迎の保護者の負担を軽減させてください。	専用通学車両や訪日送迎車などの比較的大型のワゴンを体育館側に、自家用車を芝生側に駐車していただくよう、ルールを定め呼びかけております。 再度、次年度初めにお知らせします。  「誘導」を職とした人員の配置は、東京都より認められていません。 そのため、移動・横断の安全確保に向け「安全擁護員」を採用・活用したり、教員による移動・横断・雨の日のお手伝いなどの工夫を図っているところです。ご理解ください。  「駐停車位置の指示」に関しては、全都で2校のみ配置されているバスクラークを活用して、分かりやすい方法を検討してまいります。
通学	時間設定	専用車両が登校時に「朝の会」に間に合わないとの相談を受けました。ケアをしっかりと登校したい場合と、一応学校なのだから、朝の会よりきちんと登校させたい保護者もいます。利用者の声を聞きながら、運用できることを期待しています。	今年度も始業時に到着しているコースもあります。お子さんにより、始業時に到着できる場合もあり、朝のケアに時間がかかる場合、双方のニーズがあることは把握しております。次年度も始業時に到着するコースを設定しています。
通学	運行感謝	医療的ケア専用車両が運行されたことで、通学できるようになったので、とても感謝しています。	今後とも、安全な運行を目指してまいります。
通学	運行情報アプリ	通学の車両運行、安全に運行して頂きありがとうございます。いつも親切に対応して頂いて子供も安心して乗車しています。更に望めるならば、 <b>バス</b> の運行状況が分かるアプリがあると伺いました。悪天候の時など、そういう物により、家で待機できると、本人の負担が軽減されると思います。導入をご検討いただけますと幸いです。	貴重な情報をいただきありがとうございます。他校での導入状況などを把握するなど、情報収集して参ります。交通状況により5分程度前後することがあるため、5分前に停留所に到着していただくよう、お願いします。
通学	運行情報アプリ	スクールバスにバス運行アプリを導入して欲しいです。運行状況がわかるととても安心です。港区のスクールカーや幼稚園バス等でも運用されています。	

		回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)	回答・改善策
通学	メール連絡	休みや遅刻等の連絡に、メールも利用できるように、学校代表のアドレスを作って下さい。FAXがない家庭もありますし、朝8時半までに電話することが難しい時もあります。子供の体調不良時、朝方やっと眠ってくれ、親も休める時に、学校への連絡のため起きるのは大変です。メールなら、何時でも送ることができます。ご検討下さい。	
通学	メール連絡	体調不良時の連絡では、子どもの様子も伝わりやすいと思いFAXをしていたが、担任からはFAXだと伝わりにくいのでTELを下さいと言われた。経営企画室にTELした場合のその後の対応に工夫が必要なのでは？TELはこちらの時間も限られ、事務員の方に専門用語を話しても分からないこともあるかと…	学校への連絡方法について御意見ありがとうございます。 現状は、都教委も情報管理ガイドラインに基づいての対応です。御意見はしっかりと担当部署に伝えていきます。 お忙しいとは存じますが、電話連絡の場合は朝、8時～8時30分までお願いいたします。
通学	メール連絡	①訪問簿の保護者として、学校(担任の先生)との電話のみでの連絡に限界を感じます。一番不便を感じるのは、校外学習の時です。先生とメール等で直接やり取りができることで、待ち合わせに不安解消や急な予定変更(道が渋滞している等)時のスムーズな対応依頼などが可能になります。スマホ利用の場合の名義や利用料金の問題、個人情報取り扱いの難しさなどは理解しますが、メール利用によるメリットは相当にあると思います。ご一考願います。	経営企画室職員等には、お子様の学年、氏名と欠席や遅刻の理由を簡単にお伝えください。必要に応じて、担任より折り返し御連絡いたします。 また、Faxでの御連絡も大丈夫です。こちらも、必要に応じて、担任より折り返しますので、ご活用ください。 HP上のFAXフォーマット掲載につきましては、実施に向けて早速検討してまいります。
通学	メール連絡	②欠席連絡を、学校ホームページ等でフォーマット化していただくと助かります。子供の体調悪化で欠席する場合、子供のケアをしながらタイミングを見て学校に電話することが難しいです。訪問簿なので、タイミングをのがすと先生が学校を出発してしまうことも心配です。夜間のFAX連絡の対応をいただきますが、朝になって急変することも多く、前もってのFAXはあまり現実的ではありません。ごくかんたんシンプルなフォーマットで「学年、名前、□欠席(レ点チェック記入)とコメントらんくらのフォーマットにてご検討いただけると嬉しいです。	



		回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)	回答・改善策
通学	連絡伝達	<p>医ケア専用通学車両のお世話になっています。以前、同乗の子と二人で一人のナースと帰宅することになっておりました。ただ、その日は同乗の子(小学部)は1便の子(専)に同乗し下校。私は学校からもナースからも連絡はないので、自宅で我が子を待っておりました。すると16時過ぎに学校から電話で「ナースが来ない」と。後からナースに確認したら「私は2便に戻ってこれないのでAさんにそのように伝えるように」と学校の先生にお願いしたとのこと。結局その日は私が自家用車で迎えに行きましたが、娘は1時間近く待っていることになりました。よくある事ではありませんが、乗り合わせてバスを利用する際は、学校、ナースステーション、家庭できちんと確認することが必要だと痛感しました。医ケア専用車両も今後増えていくと思います。同じようなことがない様、又同様の事が起こってしまった場合の連絡の徹底を宜しくお願い致します。</p>	<p>連絡ミスで大変ご迷惑をおかけいたしました。何よりお子さんをお待たせしてしまい、申し訳ありませんでした。訪看ステーションとの確認方法を再検討し、再発防止に努めます。</p>
安全	感染症	<p>感染症対策について。他校の例ですが、学校の家族で感染者が出たら報告する。インフルエンザの場合は欠席するルールをPTAで決めたそうです。本校にも、医ケア児がいます。毎年ニュースで、インフルエンザ脳症の死亡が聞こえてきます…学校で独自のルールをつくることは難しいでしょうか？PTAでもかまいません。みんなで子供たちの命を守っていただきたい。</p>	<p>御家族の罹患状況は御連絡をいただく協力依頼はしていますが、「連絡せねばならない」とはしていません。御連絡を頂いた際に、御家族が罹患している場合には、スクールバスは利用せず送迎していただくよう、御協力をお願いしているところです。御家族の罹患情報が個人情報になる場合も考えられ、学校から発信できる情報に限りがありますが、担任教諭が把握することで教室での感染症管理につながるとともに、先日発行した「健康の橋」学校通信等で、学校が講じている対策、保護者の方に協力頂きたいことをタイムリーに発信することで、拡大防止に努めていきます。</p>
安全	感染症	<p>学校に対してとても感謝しています。こんなに子供が楽しく学校生活が送れているのも、先生たちのおかげだと思っております。</p> <p>気になる事があり、書かせていただきます。</p> <p>感染症対策…特別支援学校に通っていてどうしてもただの風症状でも、うつると重症化してしまうお子様も多いと思います。少しの症状があってもマスクの義務化をお願いしたいです。うちの子もそうですが、嫌がる子も多いかと思いますが、少しの予防で防げることも多いと思います。特にインフルエンザなどが流行る冬は気をつけたいと思っています。</p>	<p>感染症の重症化リスクについては、校内でも研修をし、自覚をもって拡大防止に取り組むべきとして、教職員で一丸となって進めています。</p> <p>マスクの着用については、感染症が発生している学年やグループの児童・生徒に御協力をお願いしています。</p> <p>着用を嫌がる児童・生徒への指導を積み重ねることで着用できるようになった例もあり、健康意識のある日常生活行動について教育面からもアプローチしていきます。</p>
安全	アレルギー	<p>新校舎に移転してからなのか原因ははっきりしませんが、10月以降アレルギー症状がひどくなりました。去年までは、ここまでひどくなかったので困ってます。少なからず新校舎の影響があるのかと思います。なかなか改善できずつらいです。</p>	<p>新校舎の引き渡し時より毎日換気を行うとともに、10月にお配りしました「新校舎ガイドブック」でもご案内したとおり、西棟:普通教室には24時間、ロスナイ換気が作動しています。</p> <p>室内化学物質検査では基準値未満となっていますが、引き続き乾季には努めていきます。</p> <p>アレルギー症状の改善に向けて、個別に対応させていただきます。</p>

		回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)	回答・改善策
安全	火事	新校舎で2Fで火事が発生した場合、3Fからの避難にスロープが使用できないと聞きました。これが事実なら大変危険だと思いますので、改善をお願いしたいです。	2階に防火シャッター及びスプリンクラーが設備されています。消防署の方から火災対応について最新の設備でよい、と評価をいただきました。迅速に3階階段からの避難訓練も行っています。
保護者支援	保護者会	保護者会、特に全体会の時間をもう少し短くして頂けると、学年会で時間に追われることが減るかと思えます。	保護者会の時間につきまして、時間に追われることのないように設定させていただきます。
保護者支援	学習会	学習会、講演会の時間を午前にしてほしい。昨年も書きましたが、特に今年、兄弟児についてのお話に興味がありました。が、そもそも、その兄弟児の帰宅時刻に間に合いません。また、スクールバスもギリギリです。世田谷でなければ、電車で1時間をみないといけません。間に合わない時間設定はおかしいと思えます。受講者には当日限定駐車証の発行、午前開催をお願いします。	御意見ありがとうございます。学習会や研修会等に時間設定については、検討させていただきます。 PTA主催の学習会についても、情報共有いたします。
保護者支援	個別面談	個別面談の設定時間を長くしてほしい。子供の様子を伺い、指導目標や方法などを相談させていくには、現行の30分？では不足に、いつもオーバーしてしまいます。	面談週間に設定されている面談は、30分を基本に組んでいますが、必要があれば、面談週間以外でも時間設定させていただきます。
保護者支援	入学者説明会	年度途中で入学する人もいます。小・中学部からの進学でない人もいます。以前話したからではなく、大事なことはくり返し連絡していただくか、入学時点で一覧で渡して頂いても良いかと思えます。	学校のルール等、大事な周知事項は、毎年の保護者会などで、確認させていただくようにいたします。
保護者支援	制服	標準服の事ですが、せっかく採寸して本人に着やすいように作って下さっているのですが、生地が普通の学校と同じでは着にくいと思えます。ストレッチ素材の記事でブレザーを作ってもらえたら、もっと制服が着やすくなり、手軽に着れるようになると思えます。高等部入学の時に作った標準服ですが、着にくいこともあり、数回しか着ませんでした。	標準服につきまして御意見ありがとうございます。 標準服のブレザーは、ストレッチ素材を採用しております。また、お子様の身体状況に応じて、着脱しやすいよう特別仕様のものも提案しております。 御要望によっては年間を通したアフターサービス時に、お直しを相談いただけます。本校指定の制服はありません。「標準服」は仕様が合致していれば、あっせんした副以外のものでも着用できます。ブレザー着用が難しい方は、セーターやカーディガン着用も「可能です」としています。

		回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)	回答・改善策
組織	教員数	教員の数が少ないと思う。(HTさんも一生懸命やって下さっているが、教員ではないので)	各学部とも、東京都教育委員会の決めた規定に基づいた定数で教員が配置されておりますことを御理解ください。
組織	教員間連携	教員同士が不満をもちながら、うまくやっていけないシーンを時々目にする。子供も居心地悪いだろうし、連携がうまくいかないことで影響もあるだろう。小学部や中学部では感じたことのない雰囲気、戸惑いを感じる。	御指摘ありがとうございます。 教職員間の連携は、児童・生徒の学習環境を作り上げる大事な基盤となるものです。 気になる場面がありましたら、遠慮なく、学部主幹教諭や副校長にお話ください。
組織	PTA	PTA活動は、少ない人数の中で毎年バランスよく携わるように決めてあり、そこに関しては問題ありませんが、委員会については、仕事などの理由に携わるとい姿勢が感じられず、医療ケアがあり病気の症状も重いので、自家用車で登校して学校に出向く回数が多いだけでやらざるを得ない状況になりがちなのは、いかがなものかと思えます。通学バスに乗れ、放課後デイに毎日通えているくらい子供が元気であるし、そういう子たちほど必要となる委員会の内容であるのと思いました。同じ方が続けてやらなきゃならない空気は本当にやめていただきたいです。誰でも携わっていただける委員会にしてもらいたいです。	PTA活動について御意見いただきありがとうございます。 どなたでも活動に参加していただける活動となるよう、PTA役員に情報をつなげます。
施設	トイレ	トイレの洗面台を、小学部には、一般の公共施設のトイレにもあるような子供用の低い洗面台を設けて欲しい。あと、自動水栓で便利であるが、高さが合っていないので、蛇口まで手が届かないので、先生が手で水をかけている。シャワーホース式の蛇口にすると、対応できると思います。衛生管理上、早急に改善して欲しいです。	御意見ありがとうございます。 児童が自分で操作できるような高さの洗面台の設置について、今後の新棟建設の際の参考にさせていただきます。
施設	プール	今年度の夏は1回プールに入ることができました。近年の気象ではプールを利用することがとても難しいと思われます。肢体不自由児は浮力を利用して身体を動かせると、ラクなのかとてもいい表情を皆みせていました。プールの新設に伴い、できるだけ多く利用できる様に屋内型のプールの実現に取り組んでいただきたいです。使えない施設はいりません。	児童・生徒の学習にあたり、プール指導は学習効果が高いことの1つです。 新しいプールは屋内型の構造になっていきますので、御期待ください。

		回答用紙に書かれた意見や課題(抜粋)	回答・改善策
その他	感謝	いつも、子ども達の為に感謝でいっぱいです。心よりありがとうございます。今後共、宜しくお願い申し上げます。(安心して通わせていただいております)	御意見ありがとうございます。これからも、児童・生徒の充実した学校生活のために保護者のみなさまと連携を深めてまいります。
その他	感謝	子供は毎日楽しい時間を過ごさせていただいています。いつも有難うございます。	
その他	感謝	大好きな学校へ行けること、とてもうれしくおもっております。光明学園大学があつたらどんなにうれしかわかりません！	
その他	感謝	小学校1年から高校3年まで、先生方には子供に寄り添って頂きました。障害のある子どもたちのための学習の事ができました。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。	
その他	感謝	日頃より、学習だけでなく生活面や家族への配慮もありがとうございます。小・中と学校生活を送る年齢は、精神的発達も大きく、日中を過ごしている学校への安定感を求めています。新校舎に変わり、円滑に提供してくださっていることに、心より感謝申し上げます。家族としても在学中に子と共に成長すべき時期だととらえて、PTA活動をはじめ、学校や地域に貢献して、また育てられていると実感をしています。今後ともご教授下さい。どうぞ引き続き、よろしくお願いいたします。	
その他	感謝	日々、感謝です。	
その他	感謝	親子共々様々な経験をさせて頂き、皆様に感謝しております。外出許可が出たら、是非娘と光明に行ってみたいです！！いつも温かく手を差しのべて頂き、本当にありがとうございます！！	御意見ありがとうございます。アンケート項目については、再度見直しいたします。回答は、無理なく答えられる範囲でかまいません。
その他	回答	学校に行っていないので、アンケートの解答がほとんどできません。在宅用のアンケートは変更された方がいいと思います。	
その他	回答	判断できない(判らない)の回答があっても良いかもしれません。	
その他	回答	記入にあたって、知らない事が多く、判断できないことが多い為、記入できないことが多くて、大変申し訳ございません。また、的はずれな事を記入していましたらお許し下さい。自分の子供のに関して、直接関係ある事や、担任、副担任の先生方や寄宿舎の先生方に相談したり、お話を聞けたりするのですが、それ以外の事に関しては、知らない事も多く、判断できない事も多いです。	

・紙面の都合上で、お寄せいただいた御意見のうち、同様の趣旨で複数の御意見をいただいたものにつきましては、まとめて掲載させていただいております。